

財務諸表に対する注記

1. 重要な会計方針

重要な会計方針は次のとおりである。

- (1) 平成24年度から公益法人会計基準(平成20年)を採用している。
- (2) 有価証券の評価基準及び評価方法
 - ① 満期保有目的の債券
償却原価法を採用している。
 - ② 満期保有目的の債券以外の有価証券
時価法を採用している。
- (3) 固定資産の減価償却の方法
 - ① 有形固定資産

建物付属設備 …………… 減価償却資産の耐用年数等に関する省令(昭和40年 大蔵省令第15号)に定める定率法を採用している。ただし、平成28年4月1日以降に取得した建物付属設備については、定額法を採用している。

什器備品 …………… 減価償却資産の耐用年数等に関する省令(昭和40年 大蔵省令第15号)に定める定率法を採用している。
 - ② 無形固定資産
減価償却資産の耐用年数等に関する省令(昭和40年 大蔵省令第15号)に定める定額法を採用している。
- (4) 引当金の計上基準
 - ① 賞与引当金 …………… 役員、職員(派遣を含む。)の賞与の支給に備えるため、支給見込み額のうち当期に帰属する額を計上している。
 - ② 退職給付引当金 …………… 役員、職員の退職給付の支給に備えるため、期末自己都合要支給額に相当する金額を計上している。
- (5) 消費税等の会計処理
税込み方式を採用している。

2. 特定資産の増減額及びその残高

特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位:円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
特定資産				
基本金	1,649,367,599	661,980	4,441,200	1,645,588,379
退職給付引当資産	65,242,000	7,168,475	4,611,475	67,799,000
法人運営準備資産	15,176,050	0	243,960	14,932,090
事業活動準備資産	10,000,000	0	0	10,000,000
国際情報活動準備資産	165,361,792	207,677,449	256,549,241	116,490,000
合 計	1,905,147,441	215,507,904	265,845,876	1,854,809,469

3. 特定資産の財源等の内訳

特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位:円)

科 目	当 期 末 残 高	(うち指定正味財 産からの充当 額)	(うち一般正味財 産からの充当額)	(うち負債に対応す る額)
特定資産				
基本金	1,645,588,379	(1,645,588,379)	(0)	(0)
退職給付引当資産	67,799,000	(0)	(0)	(67,799,000)
法人運営準備資産	14,932,090	(0)	(14,932,090)	(0)
事業活動準備資産	10,000,000	(0)	(10,000,000)	(0)
国際情報活動準備資産	116,490,000	(116,490,000)	(0)	(0)
合 計	1,854,809,469	(1,762,078,379)	(24,932,090)	(67,799,000)

4. 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。

(単位:円)

科 目	取 得 価 額	減 価 償 却 累 計 額	当 期 末 残 高
建物付属設備	8,351,316	480,566	7,870,750
什器備品	22,918,824	20,080,413	2,838,411
合 計	31,270,140	20,560,979	10,709,161

5. 債権の債権金額、貸倒引当金の当期末残高及び当該債権の当期末残高

債権の債権金額、貸倒引当金の当期末残高及び当該債権の当期末残高は次のとおりである。

(単位:円)

科 目	債 権 金 額	貸倒引当金の当期 末残高	債権の当期末残高
未収金	37,915,376	0	37,915,376
合 計	37,915,376	0	37,915,376

6. 満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益

満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益は、次のとおりである。

(単位:円)

種類及び銘柄	帳簿価額	時 価	評価損益
第19回シティグループ・インク円貨社債	93,140,740	108,296,000	15,155,260
第55回三井物産株式会社 無担保社債	100,000,000	102,360,000	2,360,000
第10回東京地下鉄株式会社社債	100,000,000	114,774,400	14,774,400
オーストラリアコモンウェルス銀行債	100,000,000	116,810,000	16,810,000
フランス国有鉄道債	100,000,000	114,220,000	14,220,000
第138回 利付国債(20年)	50,000,000	56,424,500	6,424,500
第146回 利付国債(20年)	100,729,675	115,960,000	15,230,325
ドイツ復興金融公庫債	100,000,000	106,341,000	6,341,000
第151回 利付国債(20年)	151,248,862	165,930,000	14,681,138
政府保証第237回日本高速道路保有・債務返済機構債券	98,805,532	106,950,000	8,144,468
第152回 利付国債(20年)	99,209,470	110,610,000	11,400,530
第110回 東日本旅客鉄道無担保普通社債	100,000,000	116,798,300	16,798,300
第161回日本高速道路保有・債務返済機構債券	100,000,000	115,140,000	15,140,000
外貨建て債リパッケージ・パワーリバースデュアル債	100,000,000	109,960,000	9,960,000
合 計	1,393,134,279	1,560,574,200	167,439,921

7. 補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高

補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高は次のとおりである。

(単位:円)

補助金等の名称	交付者	前期末 残 高	当 期 増加額	当 期 減少額	当期末 残 高	貸借対照表上 の記載区分
補 助 金	富山県	0	34,804,880	34,804,880	0	
	日本海事センター	5,090,000	31,000,000	31,171,000	4,919,000	未払金(返還予 定額)前受金
助成金	日本財団	534,281,792	850,690,000	536,282,792	848,689,000	特定資産、前受 金、未払金、(返 還予定額)
合 計		539,371,792	916,494,880	602,258,672	853,608,000	

8.指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳

指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳は、次のとおりである。

(単位:円)

内 容	金 額
経常収益への振替額	
事業実施に伴い、次のとおり振替えた。	
地方公共団体(富山県)からの補助金を振替	34,804,880
日本海事センターからの補助金を振替	31,000,000
日本財団からの助成金を振替	812,790,000
内訳	
1 2021年度助成事業費を振替 (812,790,000)	
特定資産を負担金として振替	48,880,000
1 特定資産(国際情報活動準備資産)165,361,792円のうち48,880,000円を事業資金に充てるため、取崩し振替	
特定資産(基本金)の運用に伴い発生した利息を振替	33,880,249
合 計	961,355,129

9. その他

(1) 会費収入増減表

(単位:円)

区 分	相手先	前年度末	当期増加額	当期減少額	期末金額
正会員	増減なし	0	0	0	0
計	57団体(269口)	13,450,000	0	0	13,450,000
賛助会員	(株)クラレ	50,000	0	50,000	0
	上野マリンサービス(株)	50,000	0	50,000	0
計	53団体 75口	3,850,000	0	100,000	3,750,000

(2) キャッシュ・フロー計算書関係

現金及び預金の期末残高と貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係

現金及び預金勘定

現金 100,000 円

預金 680,105,742 円

680,205,742 円

(3) リース取引関係

① 未経過リース料期末残高相当額

(単位:円)

	1年以内	1年超	合計
未経過リース料期末残高相当額	996,600	2,574,550	3,571,150

② 当期の支払リース料、減価償却相当額及び支払利息相当額

(単位:円)

支払リース料	3,106,488
減価償却相当額	0
支払利息相当額	0

(4) 退職給付関係

① 退職給付債務及びその内訳

退職給付引当金 67,799,000 円

② 退職給付債務等の基礎に関する事項

退職給付債務の計算に当たっては、期末自己都合支給額を基礎として計算している。